

事務事業名	観光施設小規模修繕事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	産業施設グループ	課長名	安部 哲男
	施策名	(38)観光の振興	担当者名	佐藤 保興	電話番号	0854-40-1093
	目的	対 象 市外の人・市民 意 図 市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。	予算科目	会計 款 大 事 業 大 事 業 名	(内線)	2421
	基本事業名	(117)受け入れ施設の充実	0 1 3 5 0 1	中 事 業 中 事 業 名	観光施設管理事業	
目的	対 象 観光客 意 図 受け入れ施設を整える。	0 5 2 0 5 2		観光施設小規模修繕事業		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (25年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市内観光施設の小規模修繕

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) 市内観光施設の小規模修繕:24件 ①修繕箇所把握 ②見積依頼 ③契約、執行 ④完了検査 ⑤支出事務	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 市内観光施設の小規模修繕:6件 ①修繕箇所把握 ②見積依頼 ③契約、執行 ④完了検査 ⑤支出事務		
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)
	ア 「38.観光の振興」管理対象物件	件		H28～ 所管変更 44	46
	イ 修繕件数	件		H28～ 所管変更 24	6
	ウ				
	エ				

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	①市外からの入込客 ②管理対象物件	ア 人口【国勢調査(推計)】	人	39,472	39,032	38,506	38,477
		イ 観光入込客数	万人	137.7	148.3	153.0	153.0
		ウ 管理対象物件	ヶ所		H28～ 所管変更 44	46	
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	①観光してもらう ②適正管理する	ア 日本の人口	千人	127,237	127,095	126,933	125,739
イ 観光入込客数		万人	137.7	148.3	153.0	153.0	
ウ 観光消費額		百万円	3,852	4,023	未確定	4,300	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
【修繕費】5,365千円 大 東:3件、796千円 木 次:6件、1,470千円 三刀屋:1件、107千円 吉 田:6件、1,483千円 掛 合:8件、1,509千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円		H28～所管変更	5,365
	事業費計(A)	千円			5,365	1,537
	人件費	正規職員従事人数	人			8
延べ業務時間		時間			96	
人件費計(B)		千円			381	
トータルコスト(A)+(B)	千円				5,746	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・中国横断自動車道尾道松江線開通に伴い、広島県域から島根県への観光入込客が増加している。 ・道の駅「たたらば壱番地」から雲南市内観光施設への誘導が課題となっている。	・平成27年度までは、総合センター事業管理課で維持管理を行ってきたが、組織機構改革によって平成28年度より産業振興部産業施設課に、平成29年度より産業観光部産業施設課に所管が移った。 ・平成29年度以降については、全市的な考え方から中事業の整理を行った。	・市民や利用者から修繕について要望がある。 ・議会から観光施設の適正な維持管理を求められている。

事務事業名	観光施設小規模修繕事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	市内観光施設の小規模修繕であり、これ以上の向上余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	廃止すれば、観光客や利用者からの苦情が多く発生し、入込客数が減少する可能性がある。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		独立した施設であるため、個々に管理しなければならず、統廃合はできない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		現在、最低限の修繕であり、削減できない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		現在、最低限の修繕でありこれ以上は削減出来ない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		市の施設であるので、市の予算で修繕することは適正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
希少な観光資源を守るために最低限の修繕であり、現状維持が必要である。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		